

ウオダス漁海況速報 No. 1746-2



発行日 平成23年9月6日 <http://www.aomori-itc.or.jp>
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

9月のウオダス号外発行予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

沿岸各地の水温 (9月1~5日)

日本海	26°C台	(平年に比べかなり高め)
津軽海峡	21~24°C台	(平年に比べやや低め)
陸奥湾	24°C台	(平年に比べかなり高め)
太平洋	20~21°C台	(平年並み)

小 泊	(9月1~5日)
スルメイカ 釣り	10隻 3,130.0kg
クロマグロ 釣り	4隻 242.0kg
(2,065.0kg) 延縄	26隻 1,823.0kg
ウスメバル 釣り	32隻 556.0kg

下 前	(9月1~5日)
スルメイカ 釣り	17隻 5,695.0kg
クロマグロ 延縄	12隻 501.8kg
ウスメバル 釣り	4隻 136.1kg

鱧ヶ沢	(9月1~5日)
スルメイカ 底建網	2隻 56.0kg
(203.0kg) 底曳網	1隻 147.0kg
マダイ 底曳網	4隻 323.6kg

深 浦	(9月1~5日)
スルメイカ 底曳網	12隻 820.0kg
ヤリイカ 底曳網	12隻 514.9kg
マダイ 定置網	6隻 397.3kg
(1,212.1kg) 底曳網	12隻 807.6kg
刺網	2隻 7.2kg
クロマグロ 釣り	3隻 79.8kg
(205.8kg) 定置網	2隻 126.0kg
ブリ 釣り	3隻 38.0kg
(1,098.4kg) 定置網	6隻 1,060.4kg
ウスメバル 釣り	3隻 30.4kg
(48.4kg) 底曳網	1隻 18.0kg
サバ類 定置網	2隻 320.0kg

沢 辺 (新深浦)	(9月1~5日)
対象魚種なし	

大 戸 瀬 (新深浦)	(9月1~5日)
マダイ 刺網	1隻 1.9kg
クロマグロ 釣り	4隻 78.3kg

三 厩	(9月1~5日)
マダイ 釣り	1隻 14.0kg
クロマグロ 釣り	19隻 1,299.0kg
(1,417.0kg) 延縄	1隻 118.0kg

平 館 (外ヶ浜)	(9月1~5日)
定置網	6隻
マダイ	158.0kg
ブリ	39.0kg

大 畑	(9月1~5日)
スルメイカ 釣り	60隻 10,185.0kg
マダイ 釣り	2隻 14.6kg
クロマグロ 延縄	5隻 1,209.6kg

尻 労	(9月1~5日)
スルメイカ 釣り	4隻 835.0kg

白 糠	(9月1~5日)
スルメイカ 釣り	30隻 9,450.0kg
マダラ 釣り	11隻 117.9kg

八 戸	(9月1~5日)
スルメイカ 釣り	121隻 176,520.0kg
サケ他 定置網	1隻 198.9kg

佐 井	(9月1~5日)
取りまとめ中	

三 沢	(9月1~5日)
取りまとめ中	

◎大型クラゲの出現について

【第3報：9月1日、(独)水産総合研究センター】

大型クラゲの出現状況

日本ー中国間を航行する国際フェリーを使った目視調査により、8月20~23日の間、中国・青島沖の黄海中央海域(北緯35~36度、東経120~125度)において、少数の大型クラゲの出現を確認しました。また、8月17日と8月20~21日には黄海及び東シナ海北部海域でごく少数の大型クラゲが目視されました。さらに、8月23日には日本ー韓国間を航行する国際フェリーの目視調査でも、今年度初めて対馬海峡東水道で大型クラゲの出現を確認しました。

一方、対馬近海~山陰西部の日本海海域において、日本海沿岸関係県の調査船および民間用船による大型クラゲ分布調査を実施していますが、現在までのところ、大型クラゲは出現していません。

以上のように、現時点での大型クラゲの出現量は、黄海および東シナ海では出現量の少なかった平成20(2008)年度と同程度であり、対馬海峡を通過した大型クラゲも昨年同様非常に少ない状況にあります。

9月下旬の大型クラゲの出現予測について

8月中旬の黄海中央海域における国際フェリー目視調査の結果を初期条件として、気象庁の海洋大循環モデル1)の流況結果を用いて、大型クラゲの出現予測を行いました。黄海中央部の大型クラゲ群は、今後引き続き黄海内部に滞留することから、日本周辺水域に大量出現する可能性は低いと思われます。

また、日本海海況予測システム(JADE)を用いて、日本海における大型クラゲの出現予測を実施しました。日本海に流入した大型クラゲは、大部分が沖合域に運ばれることから、沿岸域では能登半島以西において散発的に出現する程度で、大量出現する可能性も低いと思われます。